新産業創出に挑戦

技術企業の集積地　相模原市

ロボット「特区」に期待

協議会で参入の機会探る

特長あるモノづくり企業が集積してきた相模原市。2014年度中に、さがみ縦貫道路が全線開通し、首都圏での物流効率が一段と高まる。すでに高機能な物流施設が次々と稼働しているが、その中で神奈川県とともに企業の誘致や産業集積に取り組んでいるのが、ロボット産業。新たな産業としての期待が高まっている。

相模原市は、神奈川県がロボット関連産業の集積と高度化を目指して獲得した、国の特区「さがみロボット産業特区」の中心的な位置を占める。指定地域の中で唯一の政令市であり、ロボットにつながる事業を続けてきた企業が多いためだ。

特に、さがみ縦貫道路（都心を囲む3環状道路のうち、最も外側を走る圏央道の神奈川県部分）が、2014年度に全線開通することを受け、相模原市を含む県央地域には物流施設が次々にオープンしている。交通網の整備に加え、大消費地である首都圏に近い利点と、他の地域に比べ人口が多く労働力を確保しやすい利点があるためだ。

物流産業は経済活動の大事な要素だが、製造業をはじめとする地域産業も活性化したい―。「さまざまな素晴らしい技術を持った中小企業がたくさんあり、その潜在力を出して大きな新しいエネルギー、経済のパワーにしていく」（黒岩祐治神奈川県知事）ために、物流施設の集積と並行して進めるのが、さがみロボット産業特区の位置づけの一つ。その分、相模原市への期待も高い。

そこで相模原市は、14年度に新たにロボット関連産業の協議会を立ち上げることを決めた。相模原商工会議所が事務局となり、さがみはら産業創造センター（SIC）や相模原市産業振興財団、金融機関、市内企業が集まり、ロボット関連産業への参入の機会を探る。相模原市らしい姿勢が、製造業の地域集積を重視し、モノづくり中小企業にとって真に事業に結びつくのが何かを探っている点だ。「10年、20年先にビジネスになるかならないか、という話は大企業にはできても中小企業にはできない。2、3年先にビジネスになる機会がどんな部分にあるか」（相模原市環境経済局経済部産業政策課）と見る。

これまでの取り組みがなかったわけではない。同様の趣旨で、相模原市や東京都町田市など首都圏南西部に位置する関係者が集まった「首都圏南西地域産業活性化フォーラム（南西フォーラム）」を舞台に、13年10月に分科会「ロボットビジネス研究会」を立ち上げた。14年3月までに4回開催済み。どの回も中小企業が現在の事業や技術からかけ離れることなく、親和性の高い部分で参入できる要素や市場領域がどこにあるのかを真剣に探る場となった。14年度以降は、相模原市での新たな協議会に引き継がれる。

コンソーシアム　実用化を支援

相模原市のもうひとつの重要な後押しが、「新技術実用化コンソーシアム形成支援事業」をロボット産業にも適用しようとする動き。同事業は、相模原市内の企業と大学、研究機関によるコンソーシアムを通じて新製品や新技術の実用化を支援するもので、11年度から13年度に2件のプロジェクトを実施した。14年度は、これまでの2件の枠で新たなコンソーシアムを作るとともに、もう1件をロボット関連産業に焦点を当てて採用する方針だ。また、市外で開かれるロボット・機械関連の展示会にも出展。市内企業がどんな技術を持っているか、ロボット産業にどんな可能性と貢献ができるかを示す。

これまで相模原市では、厚木市内の中小企業による「あつぎものづくりブランドプロジェクト（ATSUMO）」が人型ロボットの開発を打ち上げたことに比べ、耳目を引きやすいプロジェクトが少なかった。14年は、ロボット産業を支える相模原市産業界のモノづくり力が存分に発揮される年となりそうだ。

ロボットビジネス研究会では昨年から参入へ向けての取り組みを続けてきた（第1回会合）

南西フォーラムでのロボットビジネス研究会の歩み

2013年7月　南西フォーラム第26回
「ロボット関連産業への参入機会を考える」と題したシンポジウム開催
分科会「ロボットビジネス研究会」の立ち上げを決定

2013年10月　ロボットビジネス研究会　第1回
○東京大学特任教授　佐藤知正氏
「中小企業工場が安価に導入できる産業用ロボット（バクスター）を迎え撃て」
○グローウィング社長　山口慎一氏
「当社のロボット研究開発の実際」

2013年11月　ロボットビジネス研究会　第2回
○青山学院大学教授　山口博明氏
「青山学院大学、ロボット工学研究室の最近の研究成果について」
○カワダロボティクス　斎藤元氏
「次世代ロボット『NEXTAGE』について」

2014年2月　ロボットビジネス研究会　第3回
○神奈川工科大学特命教授　山本圭治郎氏
「パワーアシストハンドの研究と中小企業との共同研究について」
○テクノエイド協会企画部次長　五島清国氏
「福祉用具・介護ロボットの実用化状況と新規参入可能性を探る」

2014年3月　ロボットビジネス研究会　第4回
川田工業ロボティクス事業部（栃木県芳賀町）見学会

メッセージ

地域経済の活性化と産業振興を

相模原商工会議所会頭　杉岡　芳樹氏

相模原商工会議所は、1973年（昭48年）に創立しましたが、行政や関係諸機関の皆さまのご支援とご協力により、今日まで地域経済の活性化と地域の発展、振興に努めてまいりました。格別のご高配に対し、厚く感謝を申し上げる次第です。

昨今のわが国経済は、安倍晋三政権の経済政策「アベノミクス」により、ゆきすぎた円高の是正や株高、輸出関連産業を中心にした業績改善と個人消費の持ち直しが見られました。しかし、中小・小規模企業にあっては、原材料の高騰や電気料金の引き上げなどにより、回復基調にある景況感をまだまだ実感できていないのが実情であり、さらに4月からの消費税率引き上げが加わりますと、景気の腰折れも懸念されているところです。商工会議所としても価格転嫁の取り組み支援などを行ってまいりましたが、4月以降も、引き続き地域を取り巻く経済情勢の変化に注視しながら、中小企業の皆さまを支援してまいります。

さて、相模原市では、多くの人や企業から選ばれる、首都圏南西部における広域交流拠点都市として、さがみ縦貫道路のインター周辺の新たな拠点づくりや、交通新線の乗り入れが予定されている、橋本駅並びに相模原駅周辺のまちづくりが進められています。

広域的な交通ネットワークが整備されることによりまして、多くの企業が進出し、本市のさらなる産業集積が図られるものと思っており、商工会議所としても、相模原市と連携を図りながら、企業が進出しやすい環境づくりや企業誘致につながる取り組みを進め、地域産業経済のさらなる振興を図ってまいりたいと考えています。

特に、リニア中央新幹線の開通は、相模原市経済のさらなる発展につながるものであり、20年の東京オリンピック開催に合わせ、品川駅と山梨県の中間駅の部分開業が前倒しで実現するよう、関係諸機関に働きかけをしてまいります。

いずれにいたしましても、商工会議所といたしましては、商工会議所の役割と使命を再認識し、会員の目線に立った事業運営に努め、政令指定都市に所在する商工会議所として、会員の皆さまや地域社会から頼られ、評価されるよう関係機関と連携を図りながら、本市産業振興に取り組み、相模原市のさらなる発展につなげてまいりたいと考えております。

2014年1月「3Dプリンター稼働!」(Stratasys社:米国製)
お問い合せは弊社技術部へ
Medical Technology & Innovation
かながわ中小モデル工場
ISO13485認定取得
医療機器製造業許可
(薬事法:許可番号-14BZ290021)
株式会社マーク電子
〒252-0132　相模原市緑区橋本台1-31-1　URL　http://www.markd.co.jp/
技術開発センター・技術部直通　TEL.042-774-4134㈹　FAX.042-771-1226

MTL　薄型・軽量化でロボットの小型化を実現。
人間と機械の柔らかな調和をめざす
超小型 2,000P/Rインクリメンタルエンコーダ
MES-6-125PST16C NEW
■ 外径:φ7.5mm
■ 高さ:10.5mm
■ 分解能:2,000P/R
■ A、B、Z相　矩形波 オープンコレクタ出力
10.5mm　φ7.5mm
マイクロテック・ラボラトリー株式会社
さがみロボット産業特区協議会委員　http://www.mtl.co.jp

カスタム設計に特化
伝熱面積2倍　流体速度向上
採用実績2万台以上
かつ熱応力に強い設計
それは
SCFチューブ採用熱交換器
詳しくは　SCFチューブ　熱交換器　検索
http://www.rgl.co.jp/lp/index6.html
株式会社 リガルジョイント
〒252-0331 神奈川県相模原市南区大野台 1-9-49
http://www.rgl.co.jp/　TEL 042-756-7411　FAX 042-752-2004

デジタルコントローラ
相模原発
デジタルコントローラ『Hayabusa』 新商品
●フィードバック制御の最速クラス(*サンプリング周期10ms・サイズ48mmX48mm)を可能にした次世代型のデジタルコントローラです。*当社比
TTM-200 シリーズ「簡易プロコン機能を新規搭載」
●新PIDアルゴリズムを採用し制御性を向上
●フルマルチ入力
熱電対(13種類)・白金測温抵抗体(2種類)、電圧(5種類)、電流(1種類)の入力仕様が1機種で実現。(パラメータでの設定変更)
●サンプリング周期　200mSの高速化を実現
●コンパクトサイズ
奥行きが55mm(TTM-204)、65mm(TTM-205/207/209)のコンパクトサイズ。又、パネル面取付の突出が2mm。
TTM-204 グレー　TTM-204 ブラック　TTM-207 ブラック　TTM-205 ブラック　TTM-209 ブラック
プローブカード
半導体製造工程での検査治具として欠かせない製品です。
製品仕様はお客様のニーズに沿った多ピン・狭ピッチへの対応は勿論の事、短納期での生産にも対応致します。
温度センサ
各種温度素子のセンサを標準仕様だけでなく、耐薬品性に優れたセンサを始めお客様のニーズに沿った仕様の製品も製作致します。
各種温度コントローラ・温度センサの御用命も承ります。
TOHO 東邦電子株式会社
本社／〒252-0245 神奈川県相模原市中央区田名塩田 1-13-21
TEL 042-777-3311(代) FAX 042-777-3751
URL：http://www.toho-inc.com E-mail：info@toho-inc.co.jp
本社営業部 ☎042-777-3314　大阪営業所 ☎06-6353-9205
東京営業所 ☎03-3363-1331　熊本営業所 ☎096-214-6507

産業界の活力で新相模原を創出
会員とともに行動、変革、そして未来へ
相模原商工会議所
URL　http://www.sagamihara-cci.or.jp/
会頭 杉岡 芳樹　副会頭 原 清助
副会頭 宮下 朝三　副会頭 大野 則夫
副会頭 加川 広志　専務理事 座間 進
〒252-0239 相模原市中央区中央3-12-3　TEL042-753-1315(代表)　FAX042-753-7637

公益財団法人
相模原市産業振興財団
Sagamihara Industrial Promotion Foundation
理事長　杉岡　芳樹
〒252-0239 相模原市中央区中央3-12-3 相模原商工会館本館4階
TEL：042-759-5600　FAX：042-759-5655
http://www.ssz.or.jp/

<オフィス・ラボ入居者募集中!>
SICは元気な起業家・中小企業を応援しています!
さがみはら産業創造センター
Sagamihara Incubation Center
TEL. 042-770-9119　さがみはら産業創造センター　検索

「光と電波」
情報通信・デジタル家電を支える昭和真空
http://www.showashinku.co.jp
「真空」をベースにした独創のノウハウで、
現代の多彩な先端技術産業に貢献
株式会社 昭和真空
事業所
本社・相模原工場　〒252-0244 神奈川県相模原市中央区田名3062番10号
TEL.042-764-0321　FAX.042-764-0329
大野台パーツセンター　〒252-0331 神奈川県相模原市南区大野台二丁目27番2号